

ゴミを出すときは、

# 『無色透明又は白色半透明』

のゴミ袋で

## 1. ご協力ください

出されたものが何か、ゴミ収集作業員が確認しやすいよう、ゴミ出しに袋を使うときは「無色透明か白色半透明」のゴミ袋を使ってください。

## 2. なぜそんなことをするのですか？

- 作業員のケガ、収集車や処理工場での事故・火災などの発生防止
- 「分別」を徹底⇒「ごみの減量化と再資源化」の推進  
(※詳しくは、裏面をご覧ください。)

## 3. いつからですか？

令和8年4月1日(水)～

- この日以降は“黒色ゴミ袋”などの中身が簡単に確認できないモノに入れて出されたゴミは回収いたしません。
- ※お米の袋、肥料袋、ダンボール箱などで出されても回収いたしません。
- 令和7年度中は移行期間です。できるだけ早く変更してください。
- ⇒今後は「無色透明か白色半透明」のゴミ袋をご購入・ご使用ください。

## 4. 対象は？

- “燃えるゴミ”など、袋を使うときは全て。
- ※従来からの“容器包装プラスチック”と同じです。
- ★ゴミ袋は、大きさ45ℓ以内、厚み0.025～0.03mm程度の物を使ってください。



詳しくは、町ホームページをご覧ください ⇒



お問い合わせ先：猪名川町クリーンセンター（電話072-768-0818）

## ゴミ袋の色を「無色透明又は白色半透明」とする理由は？

現在、本町のごみ出しでは“容器包装プラスチック”など一部を除きゴミ袋の色は指定していません。

そのためゴミ袋の色は「黒色」を使われる家庭が多く、中にはお米の袋や肥料袋、ダンボール箱などに入れてごみを出される例も見られます。

このような出し方をされると、いずれの場合も中身を確認することができず、分別誤りや危険物（刃物など鋭利な物や発火危険性のある物）が混ざっていても確認することができません。

中が見えないと人目を気にせず捨てることができるため、再使用可能な物でも安易に捨てることができ、分別意識の低下とともに、ごみ減量化の妨げになっているとも考えられます。

また、危険物が混入していることで、作業中の作業員がケガをしたり、ごみ収集車や処理工場で事故や火災が発生する恐れがありますし、そう言ったことが起こると、各地域でのごみ収集や、処理工場での業務に支障をきたし、さらには住民の皆さんの生活にも影響を及ぼしかねません。

今回の取り組みは、作業員の安全確保を図り、ごみ収集や処理業務を安定的に行うことや、ごみ分別の意識向上により更なる「ごみ減量化と再資源化」を図ること、それによってごみ処理経費の削減につなげることを目的としています。

令和8年4月1日からの完全実施に向けて、皆さまのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。